



2023（令和5）年がスタートしました。

旧年中は、一方ならぬご理解とご協力を賜りましたことに衷心より厚くお礼申し上げます。今年も、勝央北小学校の子どもたちが楽しく過ごし学べるよう教職員一同、力を合わせてがんばります。どうぞよろしく願いいたします。

3学期が始まり、1年間のまとめと次年度へ向けての準備が本格的に動き出します。短い期間ですが、しっかり成長の跡を確かめ合い、進級・進学の準備を行っていきたいと考えています。

保護者の皆様には、行事等でのアンケートや保護者アンケートなどにご協力をいただきありがとうございます。保護者アンケートについては、初めてFormsを使ったweb回答にさせていただきましたが、お陰をもちまして93%を超える回答をいただくことができました。そこで、様々なお声をいただくことができ、気持ちを新たにしたり改善点を確認したりすることができました。アンケートで頂戴しましたご意見等についてはしっかりと受け止めさせていただき、別途、改めて対応等を含めて皆様へお知らせし、今後の教育活動の改善に役立てていきます。

## 児童アンケートの結果から～一部をご紹介します～

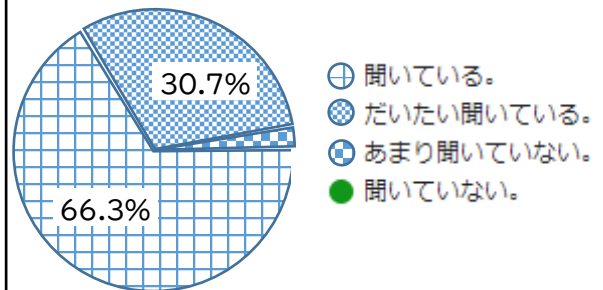
12月に保護者、児童、教職員アンケートを実施して、その結果をもとに振り返り、改善を行っています。児童のアンケート結果をいくつか紹介します。

一つ目は、「友達や先生の話をよく聞いている」です。肯定的な回答が95%を超えています。話す人と聞く人が向かい合うようにすることや、話を聞くことは相手を認め、大切にすることになるという意義を伝えて指導を続けています。考えることの第一歩ともいえる「聞くこと」を大切にしていきます。

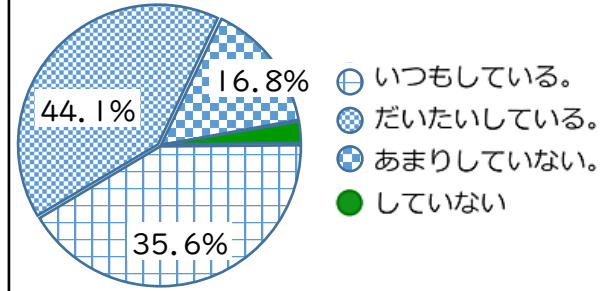
二つ目のグラフは、「次の授業の準備をして休憩する」です。ほぼ80%の児童が「している」に肯定的な回答でした。次の授業を確認する意味からも、意識して頑張っている児童が立派です。一方で、約20%、「あまりしていない」「していない」と回答がありました。すぐに始められることでもありますから、是非、意識してみたいと思います。

三つ目のグラフは、「仲の良い友だちがいる」です。98.5%の児童が肯定的な回答でした。僅かですが、残念な回答もありました。100%となることを願って、人間関係作りにも取り組んでいきます。

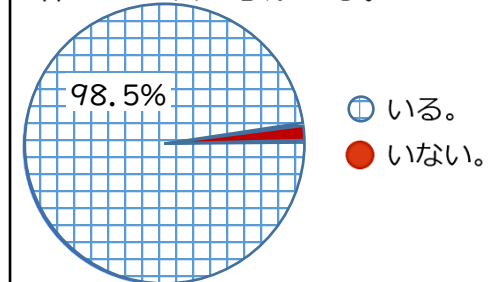
友だちの発表や先生の話をよく聞いている。



次の時間の準備をして休憩している。



仲の良い友だちがいる。



## 自己肯定感の話④

これまで、3回にわたって、文部科学省「自己肯定感と子供たちの意識」に関する調査の結果を紹介してきました。最後に、この調査のまとめを紹介します。

### (1) 自己肯定感と子供たちの意識について

各調査における自己肯定感に関する項目について、以下の関係がみられた。

#### (自己肯定感関連項目:自分には、よいところがある)

自己肯定感が高い方が、「挑戦心」、「達成感」、「規範意識」、「自己有用感」に関する意識が高い。

#### (自己肯定感関連項目:今の自分が好きだ)

自己肯定感が高い方が、「自分には自分らしさがある」、「勉強に関する意識」、「体力に関する意識」、「挑戦心」に関する意識が高い。

#### (自己肯定感関連項目:自分自身に満足している)

自己肯定感が高い方が、「長所」、「自己有用感」、「主張性」、「挑戦心」「家庭への満足度」に関する意識が高い。

#### (自己肯定感関連項目:自分自身に満足(不満))

自己肯定感が高い方が、「努力しても報われない」、「日本は競争が激しい社会である」と思っていない。  
※逆転表示になっています。

### (2) 自己肯定感と関係がみられた子供たちの意識を育むための取組について

#### ① 自己肯定感と関係がみられた子供たちの意識について、他の項目との関係を分析したところ、主に以下の関係がみられた。

##### 【学校の関わり】

- ・学級やグループで課題を設定し、自ら考え、自分から取り組むなどの主体的な学びや、友達との話し合いなどの他者との協働等を行っている と回答した子供たちの方が、「挑戦心」、「達成感」、「規範意識」、「自己有用感」に関する意識が高い。
- ・「先生がよいところを認めてくれる」と感じている子供たちの方が、「自己有用感」に関する意識が高い。

##### 【家庭、保護者の関わり】

- ・「家の人にほめられる」と感じている子供たちの方が、「自分には自分らしさがある」と思っている。
- ・「親から愛されている(大切にされている)」と思う子供たちの方が、「長所がある」、「家庭生活への満足度」に関する意識が高い。

#### ② 有識者ヒアリング等からは、自己肯定感を高めるためには、

- ・他者との協働のなかで、子供たちが自分の役割を果たすとともに、
- ・子供たちが集団又は個人の目標を達成した際に、周りの大人が認めることにより、成功体験を感じさせる

という一連の取組を継続的に行い、子供たちの発達段階に応じた対応が重要という示唆が得られた。

(有識者ヒアリング等であげられた主な取組)

- ・学校における異学年交流や児童会活動
- ・職業体験や社会奉仕活動など地域と関わりながら学ぶ体験活動

## 1月中旬～2月中旬の予定

1月12日(木) PTA第4回評議員会 19:15～

PTA三役候補者互選会 18:30～

6年非行防止教室

13日(金) 代表委員会 委員会

16日(月) 4年福祉体験 SC (PM)

17日(火) 紫黒米使用給食

18日(水) 2～6年町学力調査

19日(木) 5年福島・高野小との交流

21日(土) 4年学P 13:30～

23日(月) SC (AM)

24日(火) 交通指導

6年中学校入学説明会(6年4短)

25日(水) 集金日

26日(木) 学校運営協議会

30日(月) 町一貫一斉研修会(5短)

2月1日(水) 5年三菱自動車出前授業

2日(木) 入学説明会

6年中学校リモート見学

3日(金) クラブ(3年クラブ見学)

6日(月) 児童朝礼

7日(火) 児童会選挙

8日(水) ユニバーサル講演

10日(金) あいさつの日・指導

漢字検定

11日(土) 5年学年P (AM)

14日(火) 参観日、”お”“弁当の日

17日(金) 縦割り遊び 委員会

PTA役員選定委員会

19:00～